

# 読書の家から



## 新刊案内

### ■あぶた読書の家

△一般▽花燃ゆ 四

(NHK出版)▽恋づくり

宇野千代伝(工藤美千代)▽

アンタツチャブル(馳星周)

▽銀の森へ(沢木耕太郎)

▽断裂回廊(逢坂剛)▽勁草

(黒川博行)▽いのちの姿

(宮本輝)▽幸せ嫌い(平安

寿子)▽日付変更線△上・

下▽(辻仁成)▽怪談(小

池真理子)▽奴隷小説(桐野

夏生)▽流(東山彰良)▽リ

バス(湊かなえ)▽北町奉

行所ものがたり「為吉」(宇

江佐真理)▽おとこのるつぼ

(群ようこ)▽プロフェッ

ヨン(今野敏)▽道德の時間

(呉勝浩)▽長いお別れ(中

島京子)▽連鶴(梶よう子)

▽桑港特急(山本一力)

### ■みずうみ読書の家

△一般▽小説 土佐堀川

(古川智映子)▽わが心のジ

エニファー(浅田次郎)▽M

asato(岩城けい)▽残

り火(小杉健治)▽老人破産

(NHKスペシャル取材班)

▽ここは私たちのいない場所

(白石一文)▽起終点駅ター

ミナル(桜木紫乃)▽空の拳

△上・下▽(角田光代)▽

春風伝(葉室麟)▽空海(高

村薫)▽野菜たっぷりマリ

ネ、ピクルス、ナムル(森崎

繭香)▽樹木ハカセになろう

## 今月の1冊



### 「ママがおばけになっちゃった!」

作のぶみ

おっちょこちょいのママが、突然死んでしまったら...

4才のかんたろうくんを残して死んでしまったママ。心配でしんばいで、夜中になると、かんたろうくんに会いに来ます。

かんたろうくんにだけ見えるママはなにを言い残したかったのでしょうか?



(石井誠治)

### ■洞爺総合センター図書室

△一般▽はなとゆめ(沖

方丁)▽嫌われる勇氣 自

己啓発の源流「アドラー」の

教え(岸見一郎 古賀史健)

▽なぜ、この人と話をする

と楽になるのか(吉田尚記)▽

狐舞(佐伯泰英)▽政争(上

田秀人)▽巨悪利権(濱

嘉之)▽毒になる母 自己愛

マザーに苦しむ子供(キャリ

ル・マクブライド 江口泰子

訳)▽悲しみのイレエヌ(ピ

エール・ルメートル 橘明

美訳)▽職業としての小説家

(村上春樹)▽人生を面白く

する本物の教養(出口治明)

### ピノキオ読み聞かせの会

■日時 2月1日(月)

14時30分

■場所 あぶた読書の家

### ■開館時間

10時~16時20分まで

●1月休館日

11日・14日・21日・28日・2

月4日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた ☎76・2100

みずうみ ☎75・4702

## わたしのうた

### 短歌

「あぶた短歌会」

十二月定例会

はつ雪がしづかに降りし庭の面

朝の窓よりすがしく眺む

冬枯の庭に色添へ梅もどき

赤き実をつけ小鳥寄り来る

テレビみて朝の体操まねてみる

体すっきり良き事ありそう

粉雪の舞ひ舞ふなかにバラの花

師走なれども心なごみぬ

時として母を思はすやさし息子に

いたはれながらひと日もくるる

### 俳句

「あぶた俳句会」

十二月定例会

木枯を知らずに住んでる幸不幸

風に足掬われて季を知る

ライヴへと子等は発つ勤労感謝の日

降る雪に爆買異人旅に来る

冬將軍来たれば来よと覚悟せり

冬ぬくし終の校舎にキーキ焼く

転た寝に小春日和を独り占め

大西 芳子

北島 加代

太田 智

元田フジ子

山本 孝

三瓶 修

那須 伶子

矢野 知子

小笠原 勇

千葉 征子

菅原 敏子

佐藤 美風